広報にいつ

発行所　新津市役所
発行人　新津市企画課
総務課
電話　大代表（0211）番
印刷所　坂爪印刷工業
毎月一回発行

人口動態
（昭和44年8月1日現在）

人口	57,072
世帯数	12,890
（7月中）	
出生 77	死亡 23
婚姻 23	離婚 0
転入 179	転出 160
転居 168	世帯変更 46

工場設置は全文改正
奨励条例は全文改正

七月臨時市議で各常任委員会に付記された議案などは、それぞれ委員会で審査を経、七月三十日の最終本会議で決定されましたが、おもなものは次のとおりです。

◇工場設置奨励条例の全文改正

工場の新設、増設を促進する目的には変わりはありませんが、従来のものは奨励金の交付が第一義的に考えられたものであるのに対し、新条例は工業基盤の整備、および新、増設工場に対する便宜供与の関係をはっきり条文化したのが改正の要点です。

◇一般会計補正予算

今回の補正額は二千二百万円余で、才出のおもなものは、小合中学校舎改築費七百十四万円、都市下水管路工事費三百万円、砂利購入費二百万円などです。

◇採択された請願等

○水害対策早期実施について（秋葉）

秋葉グラウンド下の住宅地は排水設備が不完全のため、少しの降雨でも浸水の被害をうけ起こるので早期解消を請願したもの。

○西大通り線路整備について（西大通り）

未舗装のままでこぼこがひどく、関係住民が迷惑をしているので早急に整備されたいというもの。

○新関中学校の地盤嵩上について（仮称新関公園）

厳外運動場が狭くて生徒の体育活動実施上大きな支障をきたしているので、隣接用地の買収拡張をはかられたいというもの。

○保育園新築補助金交付について（小口関係者）

幼児教育の充実のため園児の分離保育を行なう保育園の新設を奨励するが、地元だけでは予算調達が困難なので、補助金の交付を願いたいというもの。

○秋葉学園を市立にすることと保母の増員について（秋葉学園保護者会）

心身障害児の福祉のため愛情に満ちた施設と的確な措置を進めて貰うために、学園を市立にし、保母を一人増員してもらいたいというもの。

○道路舗装工事について（新町）

新町地内、市道七日町線繰延線長百米、および東堤防、小出堤防護岸工の舗装工事を早期に実施してほしいというもの。

○大通り川の川底掘下げ

第五次水道拡張事業第一期工事がこの程完了し断減水に悩んできた金津、小合などの遠隔地、高台会城に十六日夕刻から待望の通水が開始されました。

待望の通水開始
拡張一期工事の完了で

総工費、六億四千八百万円を要した第一期工事は四十二年度に着工、三カ年継続で進められてきたものですが、施設の心臓部に当たる浄水場の完成を最後に一期工事を一応完了しました。

給水人口が六万三千人から六万六千人に、また一人一日当たり給水量は三百リットルから三百七十リットル、一日最大給水量は一万八千九百トンから二万四千九百トンにとそれぞれ増強されました。

一方、工事完了に伴う通水開始は、八月水害の阿賀野川異状海産に伴う断水および断水解消時期と重なったため時期自粛もまなんでしたが、今後高台や遠隔地での断減水を解消することになったわけです。

なお、第一期工事で完成した主な施設は次のとおりです。

取水ポンプ　一
高速沈澱池　一
急速ろ過池　一
送水ポンプ　一
送水管、延長四千八百
PCタンク　一

市民会館を検討
議員全員協議会開く

市民会館のことで十八日午前十時から議員全員協議会が開かれました。

今春、市当局から一応提案があった議案が公開されていましたが、その他に市の将来展望に立って適地を選んだ場合との経費の比較などが、一つの懇案として問題になっていました。

今回は、これらの所要経費の比較などを調べた資料を提出して説明がなされましたが、資料中の社会教育関係の委員会、市民会館建設促進協議会、青年会議所などの意見は、建設敷地については、秋葉グラウンドにすること、市立の場合は、狭いが通過、習熟、売店などを設けて欲しい。

想定された議案が公開されていましたが、その他に市の将来展望に立って適地を選んだ場合との経費の比較などが、一つの懸案として問題になっていました。

今回は、これらの所要経費の比較などを調べた資料を提出して説明がなされましたが、資料中の社会教育関係の委員会、市民会館建設促進協議会、青年会議所などの意見は、建設敷地については、秋葉グラウンドにすること、市立の場合は、狭いが通過、習熟、売店などを設けて欲しい。

○駐車場は出来るだけ広く、二百台位収容出来るようにと望んでいます。

市当局は、諮問の情勢判断から、「秋葉グラウンドに敷設したい、駐車場は隣接地買収の見とおしたつので二百台近い広さは可能と思う」とし、A市民会館の建設には反対ではないが、それよりも急ぐ公共事業がたくさんあるはずだから、時期を延ばしてもっと広い土地を求め理想的なものを建てたらどうか。いま二億円もの金を使って会館を建ても、それほどの利用度は考えられない、財政的に無理をすることは控えるべきではないか」などの意見が出て、さらに近い時期に協議会を開くことになりました。

市民会館について

（本町四丁目二区）

常習的に床下浸水が起こり困惑しているので、大通り川の川底掘下げ、水門補強、磐越西線沿い下水、排水溝設置を実施するための予算措置を願いたいというもの。

○農業委員会委員長、副委員長、加藤第二

○農業委員会委員長、副委員長、帆刈三三

○農業委員会委員長、小島重三

○農業委員会委員長、帆刈三三

◇農業委員会内役員の一部変更

8月水害
低地域で被災
被害総額は五千三百万円

八月水害は県内各地で大きな被害を出しました。

当市では、十二日未明から降りはじめた集中豪雨が、断続的で、長くはないが、全市的な被害はまぬがれませんでしたが、地域的には床上浸水をはじめ、農産物、農業用施設、道路、河川、欠かせないなどで総額五千三百万円のぼる次のような被害をうけました。

阿賀野川、信濃川、館川の増水は、夜半遅くまで続き、水防団の出動で隣命の防災活動を行なうなど厳重な警戒体制がとられました。午前等時すぎ減水のきざしが見えはじめ、流域住民をほっとさせました。

◇主な被害状況

○床下浸水、二十八戸、（本町一―3、滝谷本町一―五、滝谷本町一―五、成場一―17、三枚潟一―2）

○床上浸水、五十五戸、田、畑の冠水、流埋二百十、六へクタール、被害額三千三百万円余

○道路、用排水路、排水機の被害、市所、九、被害額一千三百万円

○道路、河川、橋梁の被害、五十五カ所、被害額五千余万円

募金にご協力を

八月水害で、かい滅的な被害をうけた加茂、背水などの被害者を救援するため、市では、いま募金を募集中です。

また、また回収による募金、または回収による募金に積極的にご協力ください。

お願いします。

土木車両が旧応援に復

加茂市の災害復旧応援のため急拡派遣される当市土木車両

接点

バイパス道路の早期実現を望む関係農家の一人から、大要次のような意見がよせられました。

先般来、再三にわたりバイパス道路のことで通知を受けている農家の一人です。

したがって私も農地をつぶされる立場ですが当市にとってバイパス道路の必要性は、今国や県市の施策に協力しなければと考えています。

しかし、私の部落では農業を主体とする関係農家が一人から、大要次のような意見がよせられました。

先般来、再三にわたりバイパス道路のことで通知を受けている農家の一人です。

したがって私も農地をつぶされる立場ですが当市にとってバイパス道路の必要性は、今国や県市の施策に協力しなければと考えています。

しかし、私の部落では関係農家が、ことあるごとに反対の根拠がかりしておりますが、これでもきまりがつかないのではないかと思います。

たとえ、予定位置をよそへ移したとしても同じように反対があると思われますし、すでに荻川、北潟では、解もついたときいていますが、いつまでも大巨の一部の人の反対でまとまらない現状を一日も早く解消し、バイパス道路の実現を促進してほしいと思います。

断減水のおわび

集中豪雨の影響とはいえ、お盆の最中、断減水して市民各位にたいへんご迷惑をおかけしましたことを深くおわび申し上げます。

今回の阿賀野川増水による混土化は、過去三十七年間経験したことのない異状な濁度が続き浄水場の沈澱ろ過機能が平日の二〇パーセント程度に低下したため、市民各位からかわらぬご協力をお願い申し上げます。

浄水の並確保と送水に全力を集中するため、各職員の応援を得て、給水車による飲料水確保にあたってきましたが、何分市域も広いため、いろいろご不便をおかけした点、ご寛容願おりたく存じます。

市では今後の非常事態に備え、上水確保に一段の努力を続ける所存でありますので、市民各位からもかわらぬご協力をお願い申し上げます。

五日に家事相談

九月五日（金）十時から三時まで、役場公会堂で、人権擁護委員、調停員が相談をうけ、公正に問題の解決をはかるのです。

相談の秘密は、かたく守られますから、気軽にご利用ください。

ところ　記念公会堂

家事相談は夫婦間のなやみごと、親子、親族間のもめごと、相続、扶養、遺言、その他家庭内のいろいろな問題について新潟家庭裁判所の専門職員と調停員が相談をうけ、公正な問題の解決をはかるものです。

相談の秘密は、かたく守られますから、気軽にご利用ください。